



児童相談業務の将来像について

2021年度夏期
アクセンチュア株式会社
公共サービス・医療健康本部
児童福祉チーム



0.弊社ご紹介（1/3）

アクセントの目指すこと

“テクノロジーと人間の創意工夫で、
まだ見ぬ未来を実現する”

アクセントは、デジタル、クラウドおよびセキュリティ領域において卓越した能力で世界をリードするプロフェッショナル サービス企業です。ストラテジー & コンサルティング、インタラクティブ、テクノロジー、オペレーションズサービスを、世界最大の先端テクノロジーセンターとインテリジェントオペレーションセンターのネットワークを活用して、世界120カ国以上のお客様に対してサービスを提供しています。

世界中に広がるアクセントのネットワーク。産業・業界の専門知識や経験値の豊富さから追随を許さないスキルとビジネス変革の実行力。デジタルの力を最大限に活かした新しいエクスペリエンスの創造。プロジェクト管理・システム統合のスキルと確立された方法論。エコシステムパートナーと連携し、クラウドをはじめとする幅広いテクノロジーを駆使した、DX(デジタルトランスフォーメーション)支援体制。インテリジェントオペレーションの推進と世界トップクラスのBPOオペリティ。リスクを予測し、継続的なビジネス運営を支援する力。

アクセントは、世の中の「変化を促す存在となる」ことで、クライアントや社会のための、まだ見ぬ未来を実現します。

Client Group クライアント・グループ

産業・業界のプロフェッショナルとして、主要なお客様の変革を伴走するパートナー

提供サービス

全社戦略開発支援
全社成長戦略 / グローバル戦略 / デジタル戦略 / ビジョン策定 / ガバナンス改革

アクセントがカバーする産業分野

通信・メディア・ハイテク領域
金融サービス領域
製造・流通領域
公共サービス・医療健康領域
素材・エネルギー領域

Interactive インタラクティブ本部

成長をもたらすエクスペリエンスの設計・構築・コミュニケーション・運用を、人やビジネスに関する深い洞察とテクノロジーを結びつけることで遂行し、顧客起点のビジネス変革を支援。

提供サービス

- ・ パーパスとイノベーションが両立する意義深い顧客体験の設計
- ・ 製品・サービスの再定義
- ・ プラットフォームの構築
- ・ クリエイティブ、メディア、マーケティング戦略
- ・ キャンペーン、コンテンツ、チャネル設計・運用

Strategy & Consulting ビジネス コンサルティング本部

AI、IT、OT領域のテクノロジーの知見と設計・実装能力、各業界固有の課題に対する知見と変革ノウハウ、経営から現場オペレーションに至る企業機能の課題に対する知見と変革ノウハウの3つのオペリティの融合によって、強い変革指向をお持ちの経営トップの皆様へ従来のコンサルティングサービスの限界を超えた支援を提供するプロフェッショナルチーム。

変革を支援する企業機能の領域

- ・ 全社成長
- ・ 全社収益
- ・ サステナビリティ
- ・ IT・セキュリティ
- ・ 人材・組織・オペレーティングモデル
- ・ イノベーション
- ・ AI
- ・ IoT
- ・ M&A
- ・ 営業・マーケティング
- ・ サプライチェーン

変革を支援する産業の領域

- ・ 通信
- ・ エレクトロニクス・ハイテク
- ・ メディア・エンターテインメント
- ・ インターネット&ソフトウェア
- ・ バンキング
- ・ キャピタル・マーケット
- ・ 保険
- ・ 自動車
- ・ 産業機械
- ・ 建設・不動産
- ・ 運輸・貨物
- ・ 航空・旅行
- ・ 消費財・サービス
- ・ 流通・小売り
- ・ ライフサイエンス
- ・ 公共サービス
- ・ ヘルスケア
- ・ 化学
- ・ 素材
- ・ 石油・天然ガス・石炭
- ・ 電力・ガス・水道

Technology テクノロジー コンサルティング本部

エコシステムパートナーとともに、クラウドや最先端のテクノロジーを駆使し、素早く確実に顧客や社会の課題を解決。

提供サービス

- ・ テクノロジー・インフラ&クラウド戦略策定
- ・ テクノロジー研究開発(R&D)
- ・ エコシステム&プラットフォーム構築
- ・ システム・インテグレーション
- ・ アプリケーション・インフラストラクチャー・アウトソーシング
- ・ アクセント・ソフトウェア開発・提供
- ・ アクセントラボ・アクセントベンチャーズ
- ・ 製造業のデジタル化実現
- ・ 業界別ソリューション
- ・ サイバーディフェンス
- ・ アプライド・サイバーセキュリティ
- ・ マネージド・セキュリティ

Operations オペレーションズ コンサルティング本部

世界トップクラスの業務アウトソーシングサービスの提供に加え、業務執行の中での業務改革、デジタル技術を駆使した人間とマシンの協働によるインテリジェントオペレーションの実現を推進し、お客様の確実なDX(デジタルトランスフォーメーション)を強力に支援。

提供サービス

- ・ 経理・財務オペレーションサービス
- ・ 人事・人材管理オペレーションサービス
- ・ 調達オペレーションサービス
- ・ マーケティングオペレーションサービス
- ・ セールス(コマース)オペレーションサービス
- ・ カスタマーサービスオペレーションサービス
- ・ サプライチェーン・オペレーションサービス(製造業)
- ・ R&Dオペレーションサービス(製薬業)
- ・ 契約管理オペレーションサービス(保険業)
- ・ トラスト&セーフティオペレーションサービス (プラットフォーム産業)
- ・ その他、様々なファンクション / 業界向けオペレーションサービス

0.弊社ご紹介 (2/3)

エンド・ツー・エンドのサービス

変革の道筋を描き、その実現までの道のりをお客様と共に走り、ビジネス成果をお届けします

ビジネス変革の領域

経営・事業戦略

業務戦略

IT戦略・
エコシステム設計

システム設計・開発、
セキュリティ

システム・
業務運用

エクスペリエンス・
デザイン

アクセンチュアの提供サービス

ビジネス コンサルティング

テクノロジー コンサルティング

オペレーション
コンサルティング

インタラクティブ

戦略系コンサルティング

市場の他のプレイヤー

BPOベンダー

デジタル特化型
コンサルティング

シンクタンク系コンサルティング

デジタルツール
ベンダー

IT系コンサルティング

ITアウトソーサー

広告代理店

メーカー系システムインテグレーター (Sler)

クリエイティブ
エージェンシー

メーカー系Slerとコンサルティングの合併型

0.弊社ご紹介 (3/3)

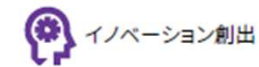
グローバルネットワーク

お客様の課題やフェーズに応じて、
世界中の多様な人材からOne Accentureでチームを編成します

世界を網羅するグローバルなサービス提供体制



グローバル・デリバリー・ネットワークがお客様に
提供する価値



イノベーション創出



海外展開支援



世界同一品質



コスト低減



51カ国



200都市以上



約51.4万人

2020年8月時点

目次

- 1. 児童相談業務を取り巻く環境
- 2. 児童相談業務が今後目指すべき姿
- 3. 今後目指すべき姿の実現のために必要な機能
- 4. 弊社ソリューションのご紹介
- 5. ソリューション概要 ～ ACIS ～
- 6. ソリューション概要 ～ AVVS ～
- 7. ソリューション概要 ～ AVE nueS ～
- 8. ACIS –導入事例
- 9. ACIS、AVVS、AVE nueS – デモシナリオ一覧

1. 児童相談業務を取り巻く環境

児童相談業務は、事案の増加や新型コロナウイルスの対応などにより複雑化している一方、技術の進展やデジタル化の取組等、解決のための環境が整いつつあります。

事案の急激な増加/複雑化

- ✓ 過去30年間で約130倍以上
- ✓ 虐待の痕跡が目に見えにくい
心理的虐待の増加
- ✓ 煩雑な事務も加わり職員負荷の増加及び担い手不足

関係機関との連携の 重要性の高まり

- ✓ 厚生労働省、都道府県、市町村、学校、警察、NPOなど組織を超えた情報連携がより求められている

新型コロナウイルス 感染症拡大への対応

- ✓ 訪問や窓口など対面での対応が困難に
- ✓ さらなる虐待発生リスク増加への懸念

技術の進展

- ✓ デジタル技術の普及
- ✓ クラウド経由で最新技術を楽しむ
- ✓ データ活用による業務高度化・自動化
- ✓ スマートフォン/タブレット等のデバイスの高機能化

政府のデジタル化の取組

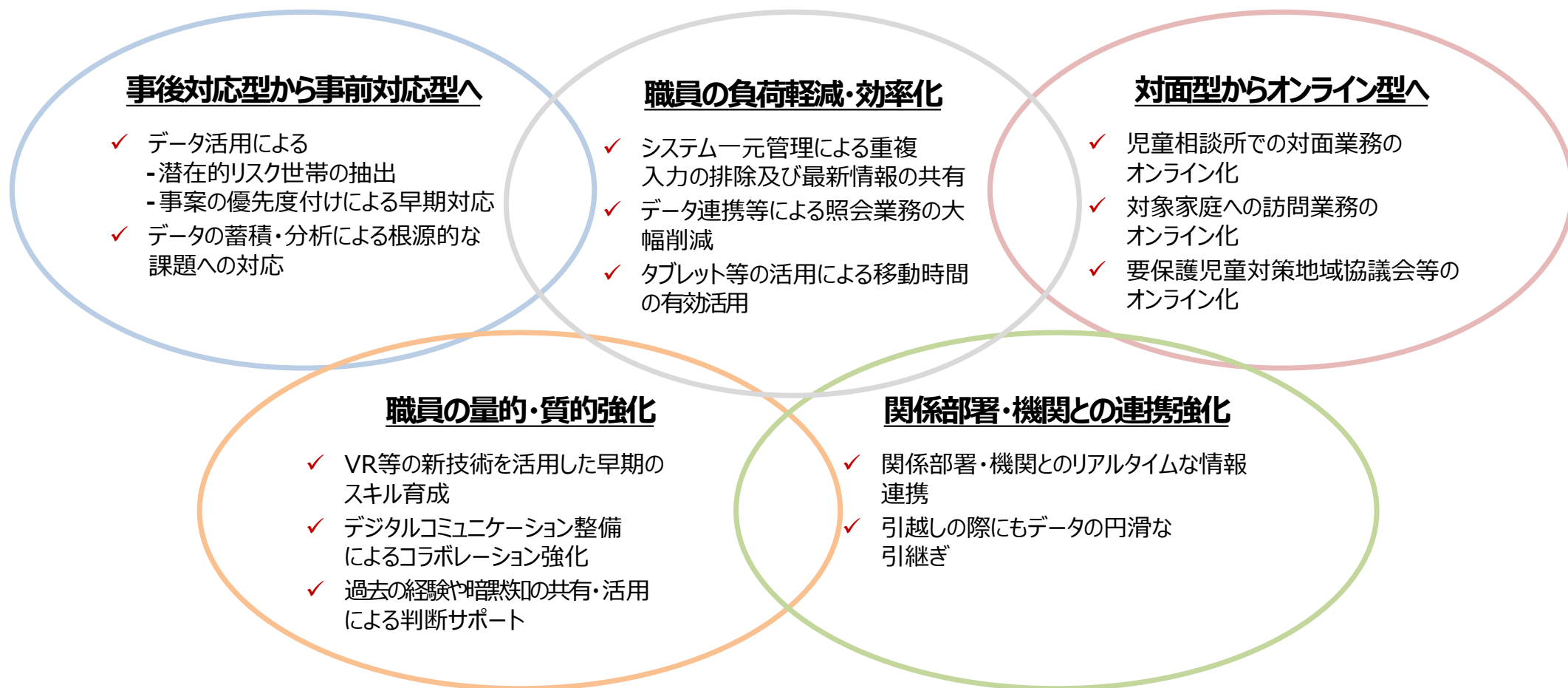
- ✓ デジタル庁の設立
- ✓ ガバメントクラウドの活用
- ✓ クラウド・バイ・デフォルト
- ✓ 自治体システム標準化・DX推進

働き方改革の動き

- ✓ ペーパーレスの推進/タブレット等の活用
- ✓ 短時間×高生産性
- ✓ 在宅勤務の拡大

2. 児童相談業務が今後目指すべき姿

今後の児童相談業務は、デジタル技術を徹底的に活用し、あらゆる観点から業務を変革していく必要があると考えます。



3. 今後目指すべき姿の実現のために必要な機能

児童相談業務の目指すべき姿の実現に向けて、最新技術を活用したソリューションの導入が有効と考えます。

児童相談業務が今後目指すべき姿

事後対応
型から事前
対応型へ

職員の
負荷軽減・
効率化

対面型から
オンライン型
へ

職員の
量的・質的
強化

関係部署・
機関との
連携強化

実現のために必要な主な機能

要支援度合の把握

職員の
意思決定支援

進捗状況の見える化
・共有

必要な情報への
一元的なアクセス

発生源入力による
二重登録の削減

職員の経験や稼働状況を
踏まえた担当者の割振り

タブレットや音声入力による
情報の記録

移動中などいつでもどこでも
情報閲覧可能

窓口相談業務の
オンライン対応

対象家庭への訪問業務の
オンライン対応

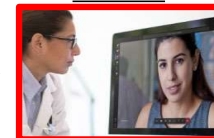
VR技術を用いた職員研修プログラム

弊社 ソリューション

ACIS



AVVS






AVEnueS



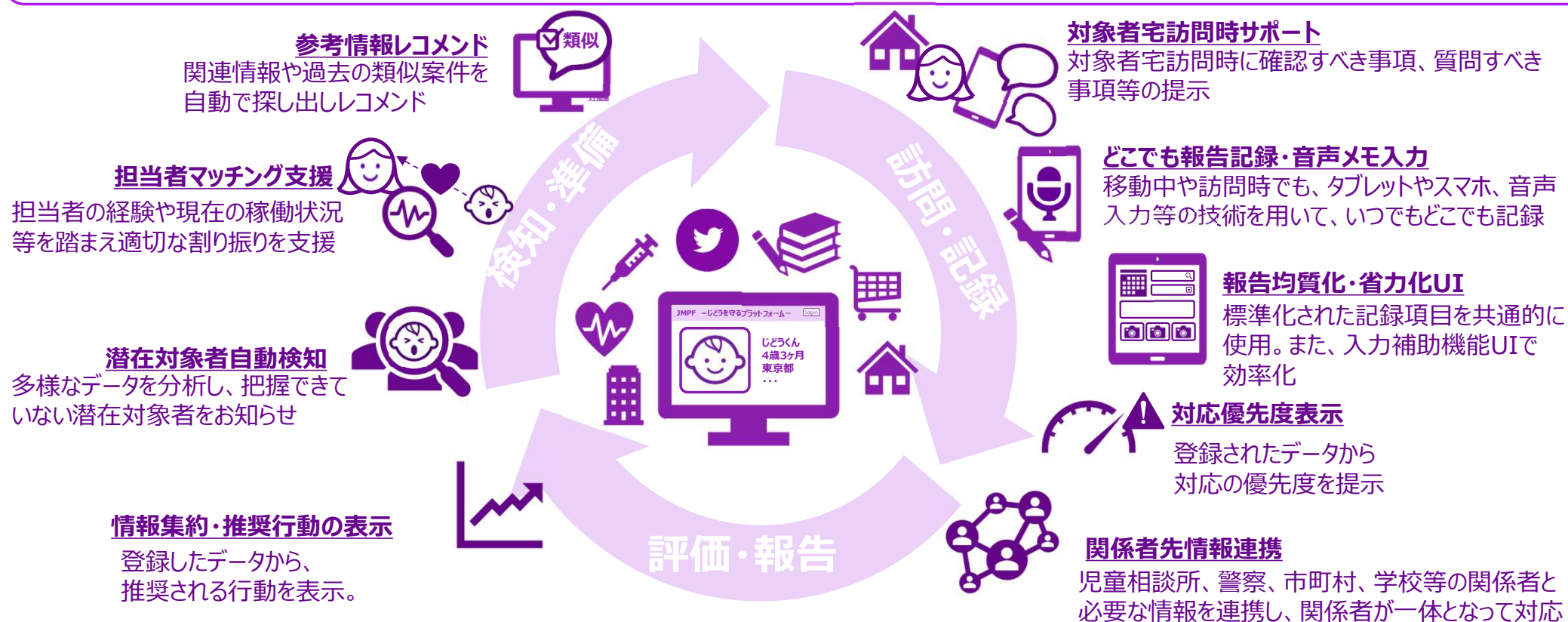
4. 弊社ソリューションのご紹介

児童相談業務の高度化・効率化を実現するために、デジタル・クラウド技術を活用して構築された弊社ソリューションをご紹介します。

弊社の提案するソリューション	導入実績
 <p>児童相談統合ケース管理 ソリューション <u>“ACIS”</u></p>	<p>-Accenture Case Insight Solution-</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童に関する情報を収集・一元管理し、児童相談業務の成果を加速させる効果をもたらします。 <ul style="list-style-type: none"> 米国インディアナ州 オーストラリア ニューサウスウェールズ州 ニュージーランド 子ども省
 <p>バーチャル訪問 ソリューション <u>“AVVS”</u></p>	<p>-Accenture Virtual Visit Solution-</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪問業務や窓口対応業務をバーチャルな形で推進し、市民とのやりとりをオンラインで完結します。 <ul style="list-style-type: none"> 米国某市 米国某州 米国某州労働委員会
 <p>VR人材育成 ソリューション <u>“AVEnueS”</u></p>	<p>-Accenture Virtual Experience Solution-</p> <ul style="list-style-type: none"> VR技術やAIによる音声認識等を用いたインタラクティブな研修プログラムにより、職員のスキル育成を実現します。 <ul style="list-style-type: none"> 米国インディアナ州 米国ジョージア州 米国ネバダ州 米国ミシガン州 米国オハイオ州 等

5. ソリューション概要 ～ ACIS ～

- アクセンチュアの事案情報管理ソリューションACIS - Accenture Case Insight Solution
- 児童の健康・福祉に関する情報を収集・一元管理し、児童相談業務の成果を加速させる効果をもたらします。
 - ✓ 児童相談所職員が安全に関する最適な判断を行えるよう支援する。
 - ✓ 子どもが施設で過ごす時間を短くするための判断と行動が可能になる。
 - ✓ 多くの子どもを自宅で家族と共に安全に暮らせるようにするための洞察を提供する。



6. ソリューション概要 ～ AVVS ～

- 社会福祉分野全体に活用可能なAVVS
 - ✓ アクセンチュアのバーチャル訪問ソリューションAVVS - Accenture Virtual Visit Solution

バーチャル・コミュニケーション（バーチャル訪問）の推進

問題点

対面での
相談・支援が
できない

電話では
十分な状況
把握や提案が
難しい

上記の状況で
パンデミックの
影響を受けた
人々に支援を
届けることが
求められている

ソリューションと特徴・利点

AVVSを活用したバーチャル訪問

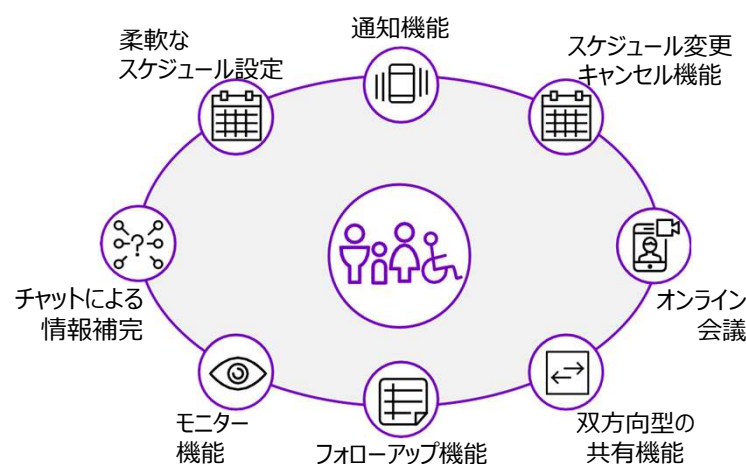
- **オンライン会議**
家庭環境等の視覚情報を取得
- **オンライン予約**
いつでも面談・相談を予約可能
- **資料・画面共有**
セキュリティとプライバシーに配慮
- **チャットでの会話**
情報の補完に利用可能

利活用シーン

- 雇用・就業相談
- 福祉受給資格相談
- 児童相談
- 年金支給相談

社会福祉分野全体に活用可能なAVVS

AVVSにより市民の窓口対応をバーチャル化



海外導入事例

米国某市

- 年間数十万件に及ぶ、退職職員向けシステムに関する問合せ対応をチャットやWEBページといった非対面のマルチチャネルで構築

米国某州

- コロナウイルス対応のため複数部門にまたがるコンタクトセンターをクラウド上に短期間で構築
- 仮想アシスタントを使ったFAQの回答機能も実装

米国某州労働委員会

- 失業保険に関する問い合わせ対応のため、仮想アシスタントによるチャットボットとクラウドベースのコールセンターを短期間で構築
- 1時間あたり1,000メッセージの問合せに対応

7. ソリューション概要 ～ AVEenueS ～

- 児童福祉業務従事者育成のための教育 VR プログラム AVEenueS - Accenture Virtual Experience Solution
- 家庭環境の複雑さを反映したイマーシブ（没入型）なストーリーと、AIによる音声認識と会話の自然言語処理でインタラクティブな児童相談を経験できる
- 情報収集・意思決定スキルの修得を飛躍的にスピードアップさせることが可能

児童福祉に関わる人材育成の現状認識

- 児童福祉業務従事者は日々、児童および家族の人生を左右する責任重大な決断をくだし続けている
- 新人職員がベテラン職員と同様な視座を得るためには通常長年の経験が必要であり、その人材育成は児童福祉行政の大きな課題
- AVEenueSは児童福祉業務従事者育成のための教育VRプログラムで、VRの中で家庭を訪問し、児童相談や判断を行う体験を行うことができるソリューション

情報収集・意思決定スキルの修得

VRで体験・修得

- 🔍 相手や環境を観察し、適切な話しかけ方を考える
- 📋 ベテラン職員が直面したことのある難しいケースを追体験する
- ❓ 重要な判断・意思決定を実践する

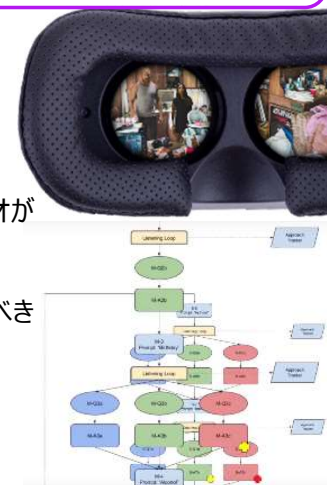


組織内ディスカッションとスキルアップ

- 👥 VR体験者のスキルを組織内で認識しフィードバックする
- 🗨️ 適切な対応や判断について話し合う
- ✍️ 判断の参考にすべき重要なポイントや業務上の課題を文書化し共有する

AVEenueSの特長・AIによる会話の自然言語処理

- 双方かつ自然な会話再現
実際に話しかけることでシーンが進むことにより、実体験のような感覚を得ることが可能
- リアルでイマーシブ（没入型）なストーリー
自分の問いかけ方を変えるとAIによる自然言語処理で相手の反応が変わるシナリオが用意されており、相手への働きかけ方を学ぶことが可能
- 360度のリアルな映像
対象児童の家庭環境が再現されており、相手や環境を観察し、判断の参考にすべき重要ポイントを見つけ出すスキルを高めることが可能



8. ACIS – 導入事例①アメリカ インディアナ州

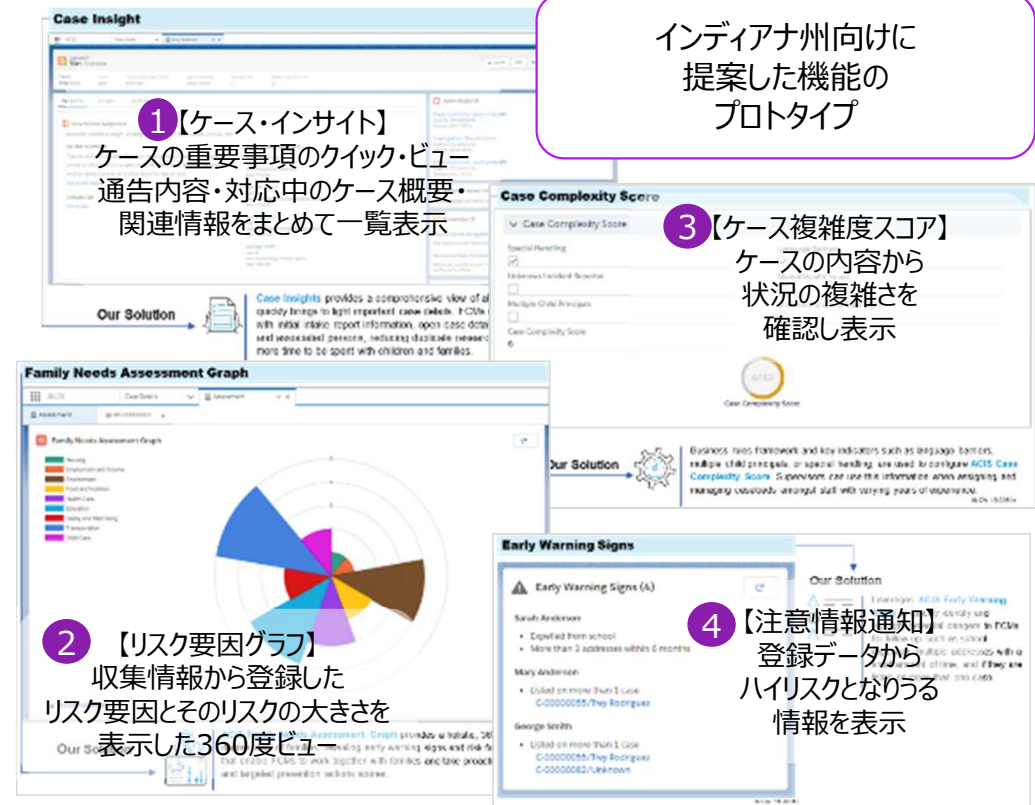
- アメリカ・インディアナ州にて児童福祉ソリューションとしてACIS採択
- リスクマネジメントに関する要件に関してACISを評価いただく
- アジャイル開発で州特有の機能開発を進めていき、その機能は他国のACISでも活用可能となる方針
- 児童福祉業務従事者向けVR教育プログラムAVENueSも同州にて採択

開発アプローチ

- アジャイル開発を活用しMVP（Minimum Viable Product）から順次リリース
- 2020年7月から開発着手し、2021年夏頃に最初の機能モジュールをリリース予定
- 州特有の機能開発を進めていき、その機能は他国のACISでも活用可能となる方針

州が重視するリスクマネジメントに関する要件とACISの対応

①	ケースに関連する情報を一元的に管理し表示できる	ケース・インサイトでは、ケースの概要及び重要事項をまとめて一覧表示・管理
②	意思決定及び計画・方針立てのインプットを整理できる	業務上のルールに基づき登録した主要なリスク要因に関する情報をグラフ化し、意思決定のインプットとして活用可能
③	登録したデータから複雑度の高い状況を表示し、視覚的に確認できる	登録したケースの情報に基づきケース複雑度スコアとして家族の情報を表示して、複雑なケースを判別することに利用可能
④	面会や保護を進めるうえで考慮すべきリスクを認識できる	ケースに紐づく保護者等の人物の履歴・情報からハイリスクとなる情報を表示し、面会・保護時の対応方針策定・計画作成を支援



8. ACIS – 導入事例②オーストラリア ニューサウスウェールズ州

- ChildStory：オーストラリア ニューサウスウェールズ州の児童福祉ソリューション
- アクセンチュアとセールスフォース・ドットコムがパートナーとなり提供する、セールスフォース・プラットフォームに構築されたSaaSベースのサービス
- 児童、家族、児童福祉業務従事者、支援者など、関係者間で情報管理・共有できるコミュニケーションプラットフォーム



ChildStoryとは

- オーストラリア ニューサウスウェールズ州の児童福祉ソリューション
- 州の児童、様々な機関の児童福祉関係者等、32,400以上のユーザ
- 2017年末に最初の機能リリース、順次機能リリースされている
- アクセンチュアがプラットフォームのすべての構成要素の運用管理を行う
- アクセンチュアは今後も実装ロードマップの設計を支援し、それ以降の新機能の展開をサポート

開発アプローチ

- アジャイル開発を活用しMVP（Minimum Viable Product）から順次リリース
- 児童を中心にした、児童の体験、経験に密着したジャーニーマップにフォーカスした設計
- 州内での270のワークショップ、300のインタビュー、58の現場の業務調査を実施。現場スタッフがニーズ理解や家族と児童の信頼に基づく関係構築をどう行うべきか調査し登場人物のペルソナとニーズを明確化した、関係者との共創アプローチを採用

5つの機能



ChildStory ケアリング

※今後リリース
支援者・家族のための連絡窓口
児童の情報確認・
事案関係者との連絡

ChildStory レポーター

通告者（警察、教育機関等）
の通告窓口

ChildStory YOU

児童本人のための連絡窓口
自身のプロフィール・
事案担当者との連絡

ChildStory ケースワーク

児童福祉業務担当者の
事案管理システム

ChildStory パートナー

支援者のための
支援情報管理システム

※2021/4時点の稼働状況

8. ACIS – 導入事例③ニュージーランド（1/2）

- Oranga Tamariki：ニュージーランドで新設された「子ども省」
- 現在または将来的に支援が必要な、6000人を超える児童を支援
- アクセンチュアはOranga Tamarikiの様々な分野のシステム構築を実施




Oranga Tamarikiの概要


- ニュージーランドで2017年に新設された「子ども省」。
Tamariki = Children
- 全ての子どもが家族やコミュニティを愛し、いきいきと暮らすことを目的とする
- 被害にあっている、または被害にあうリスクが高く、支援を必要とする児童は6,000人を超えるといわれている
- 新設にあたり、子どもを組織の中心として、業務プロセスやシステムの変革・再構築を進めている
- 今後全ての新システムはクラウド環境で構築し、より多くの費用・人員を最前線の業務を集中させる

部門

概要

児童福祉事案管理 Intake, Assessment and Referral	児童福祉事案管理 通告→アセスメント→支援決定
早期発見・事前対応 Early Support	母子保健・教育において事案に至る前の 早期発見、事前対応 妊産婦訪問、学校のソーシャルワーカー等
家庭生活支援 Intensive Response	家庭・共同体での生活の見守り、支援 サポートが必要な家庭への支援
子ども支援 Care	上記3つの対応でサポートが必要となった 児童への、里親・児童福祉機関での支援
青少年司法 Youth Justice	少年犯罪者のサポート、更生プログラム
自立支援 Transition	支援あるいは更生プログラム終了後の 生活、就労等のサポート

 アクセンチュアが新システム構築を実施中の部門（詳細は次ページ）

 システム再構築を計画中の部門

8. ACIS – 導入事例③ニュージーランド (2/2)

アクセンチュアの提供するソリューション

アクセンチュアでは、「子ども支援（Care）」部門、「青少年司法（Youth Justice）」の部門におけるソリューション提供に携わっています。また、Oranga Tamarikiの業務・部門で有する旧世代のシステムの更改を計画しており、現在リリース済の新システムと旧世代のシステム間のデータ連携を実施しています。

オール・アバウト・ミー プラン All About Me Plan

- 子どもの声を記録し子どもを中心にした支援プランを計画するためのシステム（子ども支援部門）
- 2021年7月頃リリース予定

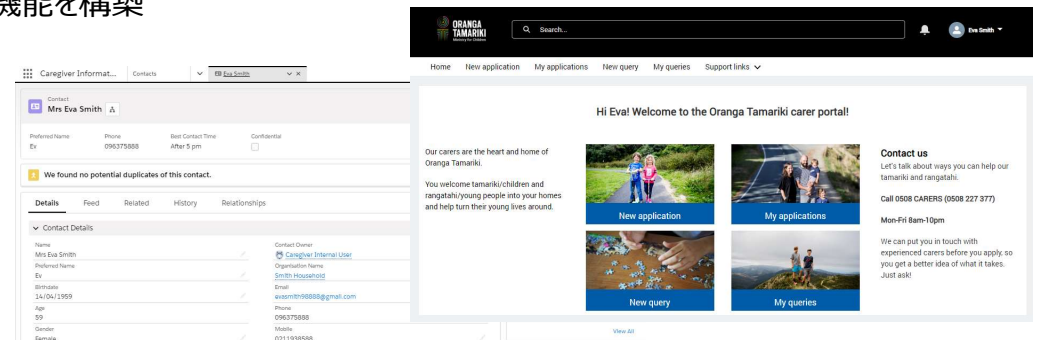
留置時の調査ツール Remand Options Investigations Tool (ROIT)

- 少年が犯罪により裁決を待つ間留置所におかれる状況を減らすためのツール（青少年司法部門）
- 2021年5月頃リリース予定

里親募集・支援システム Caregiver

里親募集・支援システム

- 子ども支援部門にて里親候補者募集、里親の活動支援を行うシステム
- アクセンチュアとセールスフォース・ドットコムとの協業でPhase1-3の対象を構築
- 里親（Caregiver）：子どもの緊急一時保護・一時保護・支援計画中の一時預かり保護・ファミリーホームでの共同生活の保護・恒久的保護・養子縁組
- Phase1：里親候補者が問合せ・申請を行うためのオンラインポータルをリリース
- Phase2：里親候補者のスコアリング機能をリリース。家庭環境調査、強みの評価、サポート計画を含め、候補者が安全な環境を提供できるかを確認する機能を提供
- Phase3：ソーシャルワーカーが児童と里親の引き合わせ・マッチングを行うための機能を構築



Webからの応募
または電話受付

里親募集・支援の流れ

Phase1

里親応募

ID作成・
申請登録

申請受理

準備研修

仮承認・
緊急措置

アセスメント
開始

Phase2

スコアリング・
アセスメント

承認者の意思
決定支援機能

承認

Phase3

引き合わせ

マッチング

構築
Phase

継続的
里親支援

8. ACIS – 導入事例④アメリカ オハイオ州

- オハイオ州の乳児の1歳までの死亡要因をビッグデータの機械学習により分析
- 25万人の母子のデータとリスクスコアを医療サービス関係者が見られる360度ビューを開発
- リスクスコアが高い母子について、適切な医療支援を実現

背景

- 2017年の統計では1000人中7人の乳児が1歳までに死亡、死亡率が米国内でも高い
- 乳児死亡要因の初期調査（統計）
→人種的要因：黒人の乳児が1歳前に死亡する確率は、白人の乳児の3倍以上も高い
- オハイオ州政府・保健省において対策を行うこととなった



ビッグデータの解析

- 環境：各関係機関横断のインフラを整備
- データソース：31の州関連機関と、連邦機関、公的機関、第三者機関のデータソースを含む 200以上のデータセット
- データ内容：死亡事例データ、保険請求履歴、教育、地域、環境、交通、経済的安定、メンタルヘルス、公的給付、医学情報、人口統計情報
- 対象となるケース数：州内の25万人の母親（とその子供）
- 分析の観点
 - 乳児死亡リスクが最も高いのはどのような母子か
 - 医療支援を受ける効果が高いのはどのような母子か
 - 最大の投資効果があるのはどのような医療行為か

360度ビューの開発と医療支援

- 母子へのリスク要因を特定し、健康面・社会面・行動面から必要な情報を参照できる360度ビューを開発
- 医療サービス関係者（医療ケア提供者、家庭訪問スタッフ、コミュニティ組織、州機関スタッフ）はWebポータルから情報参照可能
- アクセンチュアの支援で3か月で360度ビューを開発
- 確認できるリスクスコア：高い人から医療支援
 - 家庭訪問実施機関のスコアカードによるスコア
 - 健康評価：人口統計情報の特徴、医療費支出、経済状況、居住環境等200以上の指標によるスコア
 - 産婦特性：分娩結果と特性のスコア
- 医療支援が適用される3大リスク要因
 - 未熟児保護
 - 安全な睡眠環境確保
 - 薬物およびニコチンの曝露回避

9. ACIS – デモシナリオ一覧

下記のシナリオに沿ってデモの実施が可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

デモ1	①状況確認	<ul style="list-style-type: none">担当者：担当案件の状況確認（事案や児童の一覧、当日の予定など）管理者：地域全体の状況、担当者別や事案別の進捗状況を確認、各職員の行動予定を確認
デモ2	②事案情報管理	<ul style="list-style-type: none">事案情報の入力・閲覧（「子ども虐待対応の手引き」に準拠）児童記録票の出力
デモ3	③訪問結果登録	<ul style="list-style-type: none">モバイル端末利用による現地での情報確認、調査記録の登録、情報のリアルタイム反映写真、動画の登録／音声による情報登録支援
デモ4	④児童情報管理	<ul style="list-style-type: none">支援対象者を中心に考えた画面構成支援対象者から事案、家庭情報、通学情報などの必要な情報へのスムーズなアクセス
デモ5	⑤支援すべき要因の登録	<ul style="list-style-type: none">児童の家庭状況等の様々な観点から、手入力で支援すべき要因を登録グラフを活用することにより児童の要支援度合いを分かりやすく可視化
デモ6	⑥意思決定支援	<ul style="list-style-type: none">ある条件下における推奨される行動を登録・表示「一時保護決定に向けてのアセスメントシート」に沿った一時保護決定支援
デモ7	⑦ナレッジ共有	<ul style="list-style-type: none">担当者間ナレッジ共有（将来的に自治体間のナレッジも共有）「子ども虐待対応の手引き」等のマニュアルやガイドラインを検索
デモ8	⑧データ取込	<ul style="list-style-type: none">ウィザード形式（対話形式）による、厚生労働省「要保護児童等に関する情報共有システム」からの容易なデータ取込

9. AVVS – デモシナリオ一覧

下記のシナリオに沿ってデモの実施が可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

デモ1	①システムの利用開始 (住民)	<ul style="list-style-type: none">二要素認証を利用し、セキュリティを確保したうえで、簡単に利用を開始
デモ2	②面談予約 (住民)	<ul style="list-style-type: none">24時間365日、いつでもどこでも予約の受付が可能予約手続きは数ステップで対応可能
デモ3	③予約の確認 (住民)	<ul style="list-style-type: none">予約状況の一覧確認や変更も容易に可能面談で利用する資料の共有が可能
デモ4	④予約の確認 (職員)	<ul style="list-style-type: none">スケジュールの色分けなどにより予約状況を一目で把握既存のスケジュールと合わせて管理が可能
デモ5	⑤面談の実施 (住民/職員)	<ul style="list-style-type: none">複数個所をつないでのオンライン面談職員以外はオンライン会議への入室に許可が必要
デモ6	⑥申請書類の作成支援 (住民/職員)	<ul style="list-style-type: none">複雑な申請書面などは画面共有しながら申請書類を作成することで住民サービスの質を向上再提出の必要な書類を削減し、職員の業務負荷や住民の不満を解消

9. AVEnueS – デモシナリオ一覧

下記のシナリオに沿ってデモの実施が可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

児童相談業務体験	I .虐待が疑われる家庭への 最初の訪問	児童福祉担当職員向けの教育コンテンツです。 通告のあった家庭を訪問し、緊急一時保護するのか判断する プロセスを体験します。
	II .虐待が疑われる家庭への 再訪問	児童福祉担当職員向けの教育コンテンツです。 以前の家庭訪問では、緊急一時保護は必要ないと決めた場合にも 家庭に問題が残されている場合は多くあります。 以前訪問した家庭を再度訪問し、保護するのか判断するプロセスを 体験します。
行政窓口対応 業務体験	III .生活保護申請者に対する インタビュー	社会福祉担当職員向けの教育コンテンツです。 面談を実施し、支援の要請を受け入れるのかを判断するプロセスを 体験します。

お問合せ先

本件について、ご不明点・ご相談事項等あれば、以下の担当者までお気軽にご連絡ください。

■連絡先

・山根真一 （アクセンチュア株式会社 公共サービス・医療健康本部 シニア・マネジャー）
アドレス : shinichi.yamane@accenture.com

・伊藤健志 （アクセンチュア株式会社 公共サービス・医療健康本部 アソシエイト・マネジャー）
アドレス : takeshi.b.ito@accenture.com

・榊原安奈 （アクセンチュア株式会社 公共サービス・医療健康本部 シニア・アナリスト）
アドレス : anna.sakakibara@accenture.com

・代表電話 : 06-6206-1750
※お名前をお伝えいただければお繋ぎいたします。